

お客様各位

平成 28 年 9 月 20 日
北興化学工業株式会社

農薬登録情報

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
此の度、平成 28 年 9 月 16 日付で下記農薬の適用が拡大登録されましたので、お知らせ致します。

記

農薬名

第 23513 号 カチボシフロアブル

適用拡大の内容

- ・ 作物名「移植水稻」の使用時期「移植後 5 日～ノビエ 2.5 葉期但し、移植後 30 日まで」及び「移植後 5 日～ノビエ 2 葉期但し、移植後 30 日まで」を、「移植直後～ノビエ 2.5 葉期但し、移植後 30 日まで」に変更する。
- ・ 作物名「移植水稻」の適用雑草名「ミズガヤツリ（東北）」を「ミズガヤツリ」に変更する。
- ・ 作物名「移植水稻」の適用雑草名「クログワイ（東北）」を「クログワイ」に変更する。
- ・ 作物名「移植水稻」の適用雑草に「シズイ」「アオミドロ・藻類による表層はく離」を追加する。
- ・ 作物名「直播水稻」の適用雑草名に「ヘラオモダカ」「ミズガヤツリ」「ヒルムシロ」「セリ」「アオミドロ・藻類による表層はく離」を追加する。
- ・ 移植水稻の使用時期「移植直後～ノビエ 2.5 葉期但し、移植後 30 日まで」の使用方法に、「水口施用」を追加する。
- ・ 適用土壌、適用地帯の欄を削除する。
- ・

使用上の注意事項 を以下の通り変更・追加する。

【変更】

(変更前)

- (2) 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの 2.5 葉期まで(北海道の砂壤土、直播水稻では 2 葉期まで)に時期を失ないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワは 2 葉期まで(ヘラオモダカ、ウリカワの東北は発生始期まで、ホタルイ、ウリカワの直播栽培は発生始期まで)、クログワイ、オモダカは発生前から発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期までが本剤の散布適期である。
オモダカ、クログワイは発生の期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。

(12) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(変更後)

(2) 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワは2葉期まで(直播栽培におけるホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは発生始期まで)、クログワイ、オモダカは発生前から発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期である。

オモダカ、クログワイ、シズイは発生の期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。

(13) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(4)、(6)、(8)、(9)を以下のとおり変更し、全体を別紙のとおりとする。

- ・ (4)の「丁寧」を「ていねい」とする。
- ・ (6)、(9)の「避ける」を「さける」とする。
- ・ (8)の「生ずる」を「生じる」とする。

【追加】

(6)以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用を避けること。

- ① 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
- ② 軟弱な苗を移植した水田
- ③ 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- ④ 散布後に高温傾向が続くと予想される時

(7)水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させること。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3~5cm)に達した時に必ず水を止め田面水があふれないように注意すること。

適用内容等の製品情報はこちら [\(農薬製品・安全データシート\(SDS\)一覧\)](#) からご参照下さい。

以上